

表2-8 指定文化財保存助成実績

(単位：千円)

年度	国指定文化財			埋蔵文化財			県指定文化財			その他			計			備考	
	件数	事業費	県補助金	件数	事業費	県補助金	件数	事業費	県補助金	件数	事業費	県補助金	件数	事業費	県補助金		
58	19	134,615	12,050	21	35,475	9,990	9	21,321	11,550				49	191,411	33,590		補助率100%
59	19	194,059	15,280	18	57,766	9,480	11	20,600	11,270				48	272,425	36,030		
60	18	149,973	13,200	19	55,360	9,180	7	14,692	8,090				44	220,025	30,470		
61	20	169,630	14,400	17	50,660	8,400	3	8,000	3,990				40	228,290	26,790		
62	18	108,077	10,750	14	51,118	6,720	3	6,640	3,590				35	165,835	21,060		国等 80% 県 90%
63	17	123,570	8,140	15	51,334	5,710	4	9,499	3,870				36	184,403	17,720		国等 70% 県 80%
元	8	189,435	6,970	13	42,495	4,090	5	23,735	9,360				26	255,665	20,420		国等 1/5 県 1/2~1/3
2	11	228,317	10,280	12	55,902	5,570	3	9,109	4,270				26	293,328	20,120		〃
3	13	363,775	12,400	12	57,800	5,780	5	13,715	6,010	1	59,693	2,984	31	494,983	27,174		〃
4	14	419,623	14,480	9	47,520	4,740	6	29,333	7,050	1	150,817	7,540	30	647,293	33,810	当初予算	〃

(資料) 文化課調査

加に伴う助成の拡充についても要望が高まっています。

したがって、今後とも、文化財保存のための助成の拡充に努める必要があります。

(3) 文化財の愛護と活用の推進

ア 文化財の愛護

文化財に対する県民の理解を深めるため、指定文化財について、目録・要録・地図等の資料を作成するとともに、各種の文化財調査報告書を刊行していますが、近年、県民の文化財や自然保護への関心が高まってきていることに伴い、文化財の愛護に関する施策の一層の充実が望まれています。

したがって、今後とも、文化財保護強調週間や文化財防火デー等の行事への参加を促すなど、文化財に対する県民の理解と愛護精神の高揚を図るとともに、文化財により一層親しむことができるよう、建造物、史跡及び天然記念物等の国・県指定文化財について、標柱や説明板の設置を図るなど環境の整備に努める必要があります。

イ 文化財の公開

文化財の公開は、文化財の活用の最も一般的な方法ですが、文化財の中には、常時公開することが困難なものもあります。

- 建造物は、一部を除き一般公開されており、歴史民俗資料館として活用されているものもあります。
- 美術工芸品や有形文化財については、一般的に博物館や歴史民俗資料館で公開されていますが、展示・公開のための施設や設備の面で、まだ十分とはいえない状況にあります。
- 無形民俗文化財については、民俗芸能の公演・発



民俗芸能大会における郷土芸能の発表